

PFOS・PFOA に係る水質の目標値等の 専門家会議(第1回)について



2023年1月24日に、PFOS・PFOAに係る水質の目標値等の専門家会議(第1回)が環境省で開催され、PFOS及びPFOAに関する検討が行われました。

対応方針として、引き続き、毒性評価情報の収集、検出状況の把握を進めるとともに、WHO等における動向も踏まえて、本検討会でPFOS及びPFOAの取扱いについて検討していくことになりました。それまでの間は、WHOから示されたPFOS及びPFOAの暫定ガイドライン値案や、給水栓及び水環境中での検出状況を踏まえ、以下のようになりました。

- ・水道関係:現状維持(水質管理目標設定項目としての位置づけ、暫定目標値(PFOS及びPFOAの合算値で50ng/L))
- ・水環境関係:現状維持(要監視項目として位置づけ、指針値(暫定)(PFOS及びPFOAの合算値で50ng/L))

また、総PFASの取り扱いについても言及がなされ、WHO飲料水水質ガイドラインにおいて、今後、総PFASとしてガイドライン値が設定されることが見込まれていることから、総PFAS(仮称)を要検討項目及び要調査項目に追加することも念頭に、次の取組を進めていくことになりました。

- ・毒性評価情報の収集
- ・検査方法の開発
- ・検出状況の把握
- ・対象物質の選定
- ・要検討項目の目標値の設定

当社では、PFOS・PFOA等の分析に対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

資料 [2023年1月24日付 環境省報道発表資料](#)

有機分析箇所 金井佑生

当社では毎月メールマガジンを配信しております！

情報はよく目にするが情報量が多い。情報はあるけれど理解しづらい文章が多い。そのような お悩みを解決すべく、なるべくわかりやすい文章で、最新情報や時期的に必要なと思われる情報をメールマガジンにしてお届けしています。ご了承いただければ配信致します。